

東大比較文學會主催
第十三回 若手奨励研究コロキウム

道德と自由はいかにして語られるか

— 哲学のことば、芸能のことば —

2019年12月20日(金) 13:30～17:20

東京大学駒場Iキャンパス18号館4階

コラボレーションルーム3

入場無料・来聴歓迎

総合司会 佐藤 光(東京大学教授)

開会の辞 東大比較文學會会長

菅原 克也(東京大学名誉教授)

第1部 13:40～16:10

明治・大正期浄瑠璃受容における通俗教育論
— 徳島県教育会『義太夫調査書』の事例研究

発表者:川下 俊文

(東京大学大学院 総合文化研究科 比較文学比較文化コース 博士課程)

ディスカッサント:井口 俊(立教大学兼任講師)

選択可能性論を整合性の問題から擁護する
— 現代自由論のドグマに抗して

発表者:李 太喜

(東京大学大学院 総合文化研究科 比較文学比較文化コース 博士課程)

ディスカッサント:川澄 亜岐子

(東京大学大学院 総合文化研究科 比較文学比較文化コース 博士課程)

第2部 16:20～17:10

博士たちの報告会 — 博論を書いた人から書く人へ

仕事をしながら論文を書くこと

— 留学生の一人の経験として

発表者:権 保慶(翻訳コーディネーター)

内からの問いかけに耳を澄ますこと

発表者:森永 豊(法政大学非常勤講師)

閉会の辞 東大比較文學會事務局長

今橋 映子(東京大学教授)

問い合わせ先(東大比較文學會事務局)

T E L : 03-5454-6330

E-mail: todai-hikaku@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp

